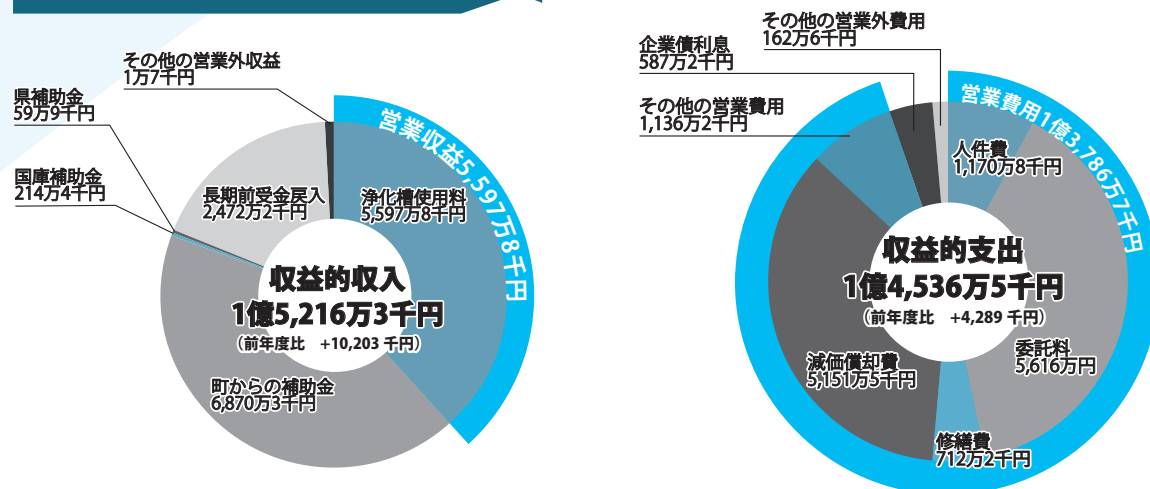


② 令和7年度 浄化槽事業会計決算

収益的収支 (税抜)

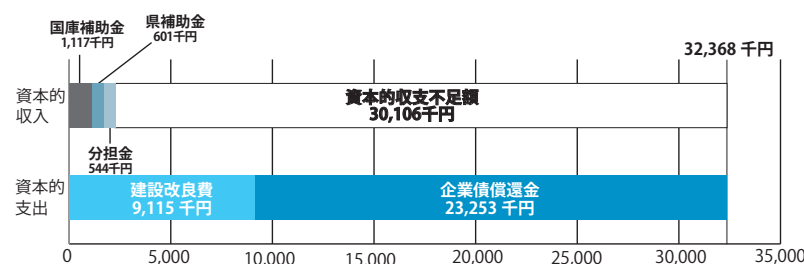


営業収益と営業費用を比較すると、8,188万9千円の営業損失となりました。令和7年度では、システム改修や、長寿命化計画（劣化・故障に対する予防保全対策のための計画）作成業務及び経営戦略（将来にわたり、安定的に事業を継続していくための基本計画）改定支援業務による委託料に係る費用が主な要因となっています。当年度純利益は679万8千円となりましたが、町からの補助金が浄化槽使用料を上回っている状況であり、厳しい経営状況にあります。

業 務 量

- ◆ 総設置基数 1,140 基
(令和8年3月31日現在)
- ◆ R7年度設置基数 2基
(転換2基)
※ R7から新築は対象外

資本的収支 (税込)



収入の総額は226万2千円となりました。支出は、建設改良費（主に浄化槽の設置費用）と企業債償還金で3,236万8千円となり、これに伴う資本的収支不足額3,010万6千円は、内部留保資金等で補てんしました。

浄化槽の維持管理をお願いします

大切な水環境を守るため、個人で設置した単独処理浄化槽や合併処理浄化槽等を使用している方は、次の3つの維持管理を行ってください。

清 掃	配管の詰まりや臭いを防止し、きれいな水を排水するため、 年1回以上 の清掃が必要です。
保守点検	部品の調整や修理、消毒剤の補充などを行います。
法定検査	年1回 、保守点検や清掃が適正に行われているかを判断し、放流水質等の検査を行います。

※町で設置した浄化槽は、町が維持管理を行います。

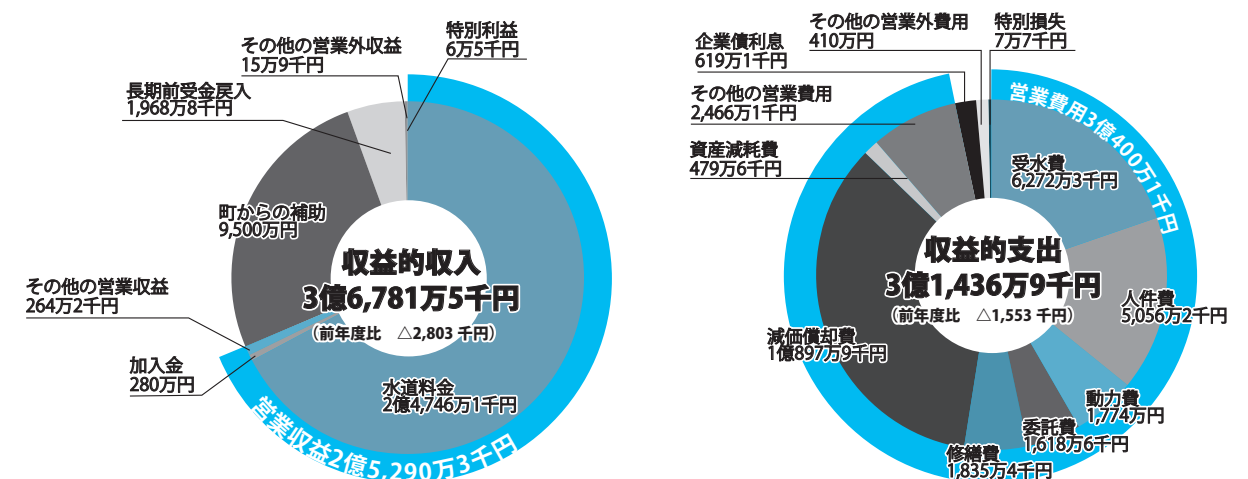
※個人で、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ新たに入れ替える場合は、町に「浄化槽設置届出書」の提出が必要です。

令和7年度

水道事業・浄化槽事業の決算についてお知らせします！

① 令和7年度 水道事業会計決算

収益的収支 (税抜)

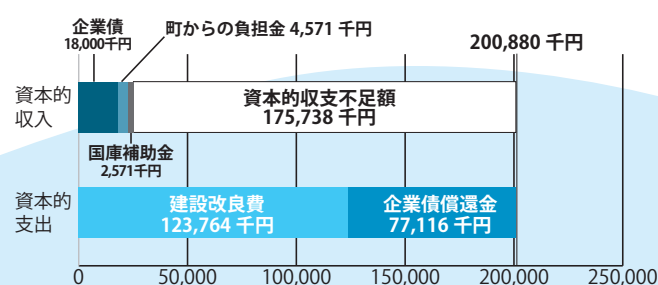


営業収益と営業費用を比較すると、5,109万8千円の営業損失となりました。令和7年度は水道基本料金の減免を4分の1に縮小して実施したため、水道料金収入が増加し、昨年度より営業損失は縮小したものの、営業収益を営業費用が上回る形に変わりはありません。また、受水池防水塗装修繕を行った昨年度と比較し、大きく修繕費が下がったこともあり営業費用は減少しましたが、委託料や人件費といった増加している部分もあります。町からの補助金（営業外収益）もあり、当年度純利益は5,344万6千円となりましたが、資本的支出（施設の整備・更新のための費用）のための資金は十分に確保できているとは言えず、厳しい経営状況です。

業 務 量

- ◆ 給水人口 9,691 人
(令和8年3月31日現在)
- ◆ 年間総配水量 1,479,080m³
- ◆ 年間総有収水量 1,151,237m³
- ◆ 供給単価 215.0 円
(1m³あたりの販売価格)
- ◆ 給水原価 255.9 円
(1m³あたりの生産価格)

資本的収支 (税込)



収入の総額は2,514万2千円となりました。支出は、建設改良費（主に水道施設の設備や水道管を整備・更新する費用）と企業債償還金で2億88万円となり、これに伴う資本的収支不足額1億7,573万8千円は、内部留保資金等で補てんしました。

※収益的支出の減価償却費や資産減耗費（現金支出を伴わない支出）、収益的収支における純利益は企業内に蓄えられます。これを内部留保資金と言い、資本的収支不足額の補てんに充てられます。